六日　夕刊

# 磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵税 金廿五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□同欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓増
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行兼編輯印刷人 森合英

# 閼伽井嵐

## 轉ばぬ先の杖

鈴木生

私の住んでゐる田町のあちこちには石油或はガソリン倉庫がある。而も構造不完全のまゝ今尚存在してゐるから、平の不思議の一つに數へてよからう。

此等が極めて危險な物である位は誰でも承知してゐる筈なのに問題にしてゐない。嘗つて常會の席上、移轉させることを上達する樣申合せたにも拘はらず、何時か消えて了つたのは、まだ火の充分つかない爲でもあらうかと思ふ。

我々は何時空襲をうけるかも知れないといふ用意の許に、眞劍に防空訓練をやり、水槽を設け防空壕を造つてゐるのではなからうか、決して遊び半分の仕事ではないと思ふ。

市中にある之等の危險倉庫は爆彈投下となれば我々の生命は一體どうなるだらう。否、何等かの拍子にタンクが爆發しガソリンに引火でもしたならば、吾々のうける被害の如何に大きいかを考へてみる必要があると思ふ。當局は之等の被害をうける迄、拱手傍觀の態度で居る積りであらうか。

これから暑くなると、夜な夜な嫌な匂ひと共にヅドン〳〵と不氣味の音を立てゝ夜半に夢を驚かせる、氣の小さい者は慄え上つて了つてゐる。

先日の洪水でも、なあに此れ位の水ではと油斷してゐた者が却つて被害をうけてゐるときいてゐる。轉ばぬ先の杖である。私は市中の油其他の危險物の倉庫を安全地へ移轉させることを敢て提言し、併せて市民の注意を喚起したい。

## 原稿募集

本紙第一面の各種原稿を募集する奮つて御投稿下さい

天地の神を祈りて
さつ矢ぬき筑紫の
島をさしてゆく吾
（防人の歌）

# 踏破六百里

……櫛田彦之進氏による……

岩崎敏夫

（四）

盛岡までは豫定の通りで、着いたのが十月七日。福島のちつぽけな馬で、よくも此處まで到着したと言はれ氣まりが惡かつたが、岩手は名に負ふ優良馬産地だから無理もない。實際この私の企が失敗した時は、此等優良馬をもつて決行せられたいと、出發に當つて森岩手の人々に希望した。この盛岡では騎兵聯隊其他の有志から、六百里を三十日で乘り切るなどは無理の無理だと忠告され、殘念であつたが豫定を變更した。馬はそろ〳〵疲勞してくる。水澤をすぎ館澤に着いた。見ればしきりに行手に花火が上つてゐるので、祭でもあるのかと思つてきけば、貴方の到着を待つてゐたのだといふ。

岩手の山間を通る時など、半日歩いて漸く牛一匹見る位のこともあつて、道には山葡萄が鈴なりに實つてゐた。ある宿舍でキャラメルを二十ばかり貰つたから、道に遊んでゐる二三人の子供にやつたら、食べ方を知らないと見えて何時までも開かず持つたまゝであつた。學校の傍など通ると、ぼろを着たものすごく眞黒な子供が跣足で街道に飛び出してくるが先生のみは矢張り袴をはいて相當な身なりであつた。或時は間違へられて署長さんと呼ばれた。聞けば一ヶ月ほど前に二人の女が山に栗拾ひに行き、大蛇を見てから寢ついてしまひ、二三日前も爺さんが矢張り蛇を見て寢てゐるといふので、署長の指揮で蛇狩をはじめるところなのである。

中尊寺に詣でゝ古をしのび、昔の武士も斯く乘馬姿で戰つたこともあつたらうと思ふと顧て壯快さを覺える。

宮城縣に入つて築館町についた時は、一日に十七里も歩いたこととて、人馬共につかれ果て、出來れば一日位の休養をとりたくも思つたが、早くわが福島縣へ入りたく思つたので緩まうとする心に勇氣づけて馬を進めた。途中時々餅や饅頭等を買つては馬上ながらに吉岩に與へるが、馬はそれと知つて、袋を棄てゝしまふまでは、がさ〳〵紙の音をさせる每に立止つては後をふりむいて首を上げる。

# 藝能のはなし

（三）

高木稻水

白河天皇の時、野の御幸（紫野、大原野などに鷹狩のため行幸する）といふことがあつて嵯峨野に行幸におなりになり、そこで放鷹樂といふ樂をお催しになられたことがある。この放鷹樂（舞樂の名前）をするには必ず笛を吹く人が二人なければならぬ。ところが大神惟季といふ人の他にこの舞樂の時の笛を習つてゐる人がない。そこで明宗といふ人がこの樂の笛を習ひおぼえてゐる所からまだ十四歲であつたのを急に宮中の藏人所といふ所で元服させてこの時の樂人として惟季と二人で奉仕する事になつたといふ話がある。この時の舞人といふのは天子樣の前でするのであるからそれこそすぐれた人達ばかり選ばれたわけで、十四歲の明宗がその晴の場所で笛を吹くといふ光榮を得たのは彼が放鷹樂の笛を習ひおぼえてゐたからこそである。かやうに藝能にすぐれてゐるといふ事は思ひがけぬ名譽を得る事があるものである。美しい唐裝束をして笛を吹いた當日の若い明宗の姿を多くの人達はどんなに羨望の眼をもつて眺めたかわからなかつた。

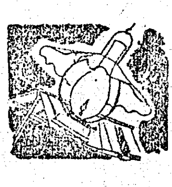
源三位賴政は弓が上手であつたために宮中のヌエを退治して面目をほどこし、和歌が上手であつたために三位になつた事も有名な話である。

昔宮中に仕へてゐた音樂者の一人助元といふ人が職務怠慢の科によつて左近衞府（近衞兵の役所）の下倉（倉庫）に入れられた事がある。この下倉には蛇が住んでゐるといふ噂であつたので、助元は出られては困るなあと思つてゐると案の定、夜中になると大蛇が出て來た。頭は祇園のお祭の時の舞獅子のやうであり、眼は金屬製の椀のやうであつた。三尺位もある赤い舌を出して大きな口をあいて迫つて來た。助元はすつかり仰天してぶる〳〵ふるへながら腰の笛をぬき出して還城樂といふ曲を夢中になつて吹いた。すると大蛇は頭を高くもたげてしばらく笛の音にきゝほれて居つたがそのまゝ返つて行つてしまつた。笛の名曲が大蛇を感動させたのである。

# 無題

佐分利晃

朝の田舍道で……
私に向つて飛んで來たとんぼを
瞬間手の掌で叩き落してゐた
二三回もがいてゐたが
やがて動かなくなつた
可哀想な奴と拾ひあげて
も一度とばして見たが
ポタリと地面に落ちてしまふばかり
その仕草を繰返す中に
私は小さな生命を奪つては
うつぷんを晴らさうとする自分を
發見した
……可哀想な奴！
とんぼになげた言葉は
自分の上にあつたのだつた



# 異人劍法

（[illegible]上演上映）

【48】

車谷弘
下山望東畫

## 湯けむり（六）

その翌朝だ。

母のお作は、巳之助の枕もとにすわつてゐた。

『お前また、今日も行商を休むのかえ』

『お母さん、もうどうか心配しないで、うつちやつといておくんなさい』

『だつてお前、此頃のお前の樣子は、どうも私には腑に落ちない、ねえ巳之や……』

『なアに少し頭が痛いだけなんだ』

巳之助はうるささうに、顔をそむけて、寢返りを打つた。

（昨夜もきつと眠れなかつたにちがひない、何か心配事があるらしいが、可哀想に瞼が腫れて……）

ぢつと伜の寢顔を見つめて、お作はそつと溜息をついた。

今日もまた、うんざりするほど暑いのだ。南國的な熱い日ざしに草も土もムン〳〵といきれ返つてゐる。

またひとしきり裏山に啼きたてる蟬の聲を巳之助は夢うつゝに聽いてゐた。

すると、

『御免下さい』

入口に訪ふ女の聲がした。

その聲に巳之助はハツとした。

『はい』

と初音が取次に出て行つたらしい。

（しまつた、とう〳〵やつて來やがつた）

大浦の岩太郎より小梅の出現の方が、今の巳之助にとつては恐ろしいのだ。

巳之助はぢつと耳をすました。母が初音に代つたらしい。ホツとしたがひとりでに巳之助の顔は赤くなつた。

『あの、巳之助さんのお宅はこちら樣で……』

『はい』

『巳之助はをりますがあなた樣はどちらから……』

『はい』

と小梅はすましたもので、

『巳之助さんにお目にかゝればわかります。私は甲州からこちらへ參つてをりますもので……』

さアかうなると、何を云ひ出すか分らない。あわてゝ巳之助は着物を着た。飛出して來て母を押しやるやうにして上り框に手をついて

『これはまアようこそ……暫くでございました。ほんとうにまアお珍らしい。いつこちらへお越しでございました』

『え』

面喰つたのは小梅だつた。

上眼づかひに、しきりに巳之助は眼くばせしたが、それにはてんで眼もくれず、

『つい二三日前の事……』

小梅は口に手をあてゝ微笑ひ乍ら、

『でもまア巳之さんはしばらく見ぬ間に、大層お世辭がお上手になりましたねえ』

と、つけ〳〵とあてこすつて。

『いや、その、お陰樣で……』

脇の下に手を入れてそつと巳之助は冷汗をふいた。

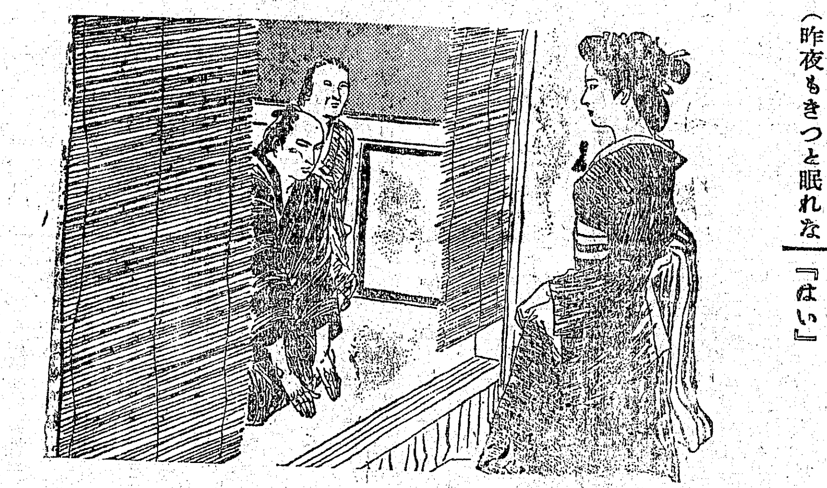
『ともかくまア、鳥渡お上りなされませ』

小梅と巳之助を見くらべ乍ら母が横から口をはさんだ、お作は正直だ田舍者で、人を疑ふ事を知らないのだ、得たりとばかり小梅はつけこみ、

『ぢやアお言葉に甘えて、鳥渡お邪魔させて貰はうかしら、いろ〳〵つもる話もあるし……』

とニヤニヤし乍ら、初音の消えた部屋の方を、意味あり氣にチラツと見やつた。

小梅は上り込むつもりらしい。



本社電話變更
電612番
磐城毎日新聞社

小名濱唯一の
味の店
おでん
小料理
御會食御商談に
御利用を……
味の店
寶來

外科 整形 胃腸 性病
內臓外科 脳脊髓病科 外科
整形外科 レントゲン科 理學療法科
內科 胃腸病科 肛門病科
花柳病科 皮膚病科 泌尿器病科
醫學博士 松村亨
醫學得業士 松村鐵郎
松村醫院
平市南町 電一〇七

乘合 貸切 馬車御案內
乘合區間平、夏井間、平發午前七時 午前九時、午後一時、午後四時の四回
貸切馬車
は新体制下に於ける乘り心地よき快適な仕立
運行は朝の六時から夜間は十時まで
料金市內七十五錢、市外四キロ一圓五十錢一キロを增す每に一圓增
大河原トラック部
同 乘合馬車部
平市大町 電五七六

精神病科
脳脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三丁 安積中學より五丁 郡山市外大槻村針生 （電九二五）
福島縣立代用精神病院
內務省指定
郡山脳病院
院長醫學博士 金礒五郎

メガネの店
早期檢眼
正確な眼鏡により視力を保全致しませう
各眼科醫指定處方眼鏡調製
玉屋眼鏡店 平市二丁目 電話635（呼）

外科專門
野村外科
手術室完備
小名濱町古港 元津村屋跡

內臓外科 整形外科
平市大町
內木外科醫院
醫學博士 內木宗八
電話七九番
▽入院隨時△

產科、婦人科
根本醫院
平市南町 電話三四番

口腔外科 齒科一般 レントゲン科
小名濱町中島通
門馬齒科醫院
院長 門馬忠男

內臓外科 整形外科 レントゲン科
松村醫院外科部（平市南町）
松村外科
醫學博士 松村亨

割烹
はまや
小名濱公園內
電話百廿番

（見習看護婦入用）
產科、婦人科
井坂醫院
平市田町 電五五九

看護婦及家政婦の御用命は
平看護婦會
平市南町 電三〇七

平市紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番
醫學士 吉田久雄

姓名鑑定
疾病、職業、天運、家族運、男女緣
名前のみで一代の運命がわかる……
平市紺屋町
鵜沼孝昌

債券、公債、兩替、金融
多田井寶店
平市大工町 電話五九一番

おでん
ヤキトリ
田町末廣トナリ
一柳

祖先崇拜は
家庭繁榮の礎
佛壇、塗位牌 佛金物
豊富に取揃へてあります
是非當店へ……
佛具 造花
山光堂
平市局通り【電話五五〇番】

國民擧つて防火塗裝を！
回危險に曝露する木造家屋
回手輕るに出來る防火家屋
回コロイド防火塗料の特長
專賣特許 太陽無機コロイド販賣店
大量使用の御注文並團体的御申込へは實驗の御希望に應じます
カタログ進呈
山田文一商店
平市仲町通り 電話二六二番

カメラはモギ
現像 燒付 引伸
寫眞の好きな女店員募集
高給優遇す
年令十七ヨリ廿才
カメラ 賣買 交換
平市中央通り
茂木カメラ店

自動車助手男車掌女急募
求人者 野崎交通自動車株式會社
人員 助手五名 車掌十名
年令 十六才以上二十才未滿
希望者 履歴書持參左記ニ申込ノこと
平國民職業指導所
電五六二番

一台のミシンで喜ぶ家庭の經濟
良いミシン一台買つて衣服更生
追從を許さざる斯界の權威
ミシン界の明星
ミシン界の王座
代表的國產
シンガー！
アサヒ
精研合
ニッポン
トーア
ナショナル
プザー！
迷はず…迷はされずに安心して買へるミシン
◎型錄進呈 ¥190＝
外交員なし
信用確保 直接販賣
平市驛前田町
常磐特約販賣代理店
シンガーミシン商會

# 平鐵工業界の一統合强化
## 新業種別全面的に發動

戰時態勢下に於ける重要産業の統合强化策に伴ひ平市の鐵工業界にも大旋風が巻き起り新業種別制に依つて平鐵工組合から鑛山機械組合、鑄工組合と分離されて大統合が行はれることに決定、各々準備を進めてゐる

### 鑛山機械業
二本建も相當難色
### 合流工場注目さる

鐵工組合から分離され商工省直轄監督下に於かれる鑛山機械業者は平市内に十六工場を數へてゐるがこの内『專門業にあらず』との理由から縣當局に締め出される如き形勢にあるのは

河田梅吉、鈴木唯重、佐藤源吉、吉野勇、渡邊秀行

四工場あり、縣の方針は殘る工場を一丸とする意嚮であつたが業者側は四工場に統合を希望し縣當局も業者の要望を容れ結局二工場統合することに諒解成り親工場を今井製作所、吉伴鐵工場の二工場を指定された模様であるこれがため各工場は縣の指示に基き兩工場何れかに合流、現物出資に依つて有限會社を創立することになるが、從來の行きがゝりもあつて各工場の合流も簡單に濟まされず十日の縣へ報告期日を直前に控へて各業者とも頭痛鉢巻の態である

親工場に指定された今井製作所は武藏鐵工場、關口鐵工場と三工場を合併し有限會社設立の認可申請未登記のまゝ今日に至り、一方吉伴鐵工所も同様三瓶鐵工所と統合有限會社設立未登記中で、一歩前進してゐた關係から兩工場に選ばれたものゝ如く、兩工場へ合流する工場の顔ぶれは注目されてゐる

### 野鍛冶抱容
### 鐵工組合更正

鑛山機械と鑄物工業を拔かれた平鐵工組合は骨拔きの形であるが鑛山機械から拔ける五工場が戻り、石城郡下と双葉郡廣野までの廣地區に亘る野鍛冶を抱容して更正することになつた

組合長西山惠一氏は鑄物業の關係で脱退し、新組合長には木田四郎氏が就任した

### 鑄物業
八工場加盟
新業種別整備に依つて

縣鑄物工業組合へ加盟することになつた平市内の鑄物業者は平製作所、佐藤二郎工藤源吉、田邊鐵工武藏鐵工、吉健鐵工佐藤源皆、河田梅吉の八工場で縣の理事には西山惠一氏が選任された

## 七月の煙り
平管内十三萬七千余圓
### 前年比一分三厘增

專賣局平出張所管内七月中の煙草賣上げ高は十三萬七千九百七十三圓で前年同期に比し一割一分三厘に當る一萬三千八百七十四圓の增加であるがこれで四月よりの累計は五十七萬一千五百五圓である、なほ七月中の賣上げ内譯次の通り（括弧内は前年同期に比較しての增加）

△兩切、八萬一千三百四十四圓（四千七百六十九圓）△刻み二萬九千二百八十九圓（七千三百圓）△口付き二萬七千三百三十九圓（千七百九十四圓）

### 井水檢査
平常も使用奬勵

平市衛生課では水害直後から引續き市内井戸の消毒法を指導してゐたが今六日十七區（仲町）を最後に一旦終了することになつた、一方平保健所では四日から一週間の豫定で市内井戸の水質並に構造調査に着手したが市衛生課では水道通水後も常に洗濯、野菜ものゝ洗ひなどに使用し有事に備へるやう注意してゐる

## 國民貯蓄組合
### 各區毎に指導結成

國民貯蓄組合法の實施に依つて既設貯蓄組合を改廢して内容を强化することになり、左の日程で各區内會毎に區内會長、班長、隣組長既設組合代表者を集めて懇談し、其の席上直ちに新組合結成を指導する筈で市内の貯蓄組合は今月末日までに整備させ貯蓄報國に努めることになつた

開催日割

第一班係柳沼、酒井

第二班係柴田、吉成

△八日夜七時、長橋町、三丁目△九日夜研町、古鍛冶町、四丁目△十一日夜、紺屋町、五丁目△十二日夜、田町、新川町△十三日同、一丁目南町△十四日同、二丁目、北白銀町△十五日同、材木町、仲間町△十六日夜、鍛冶町、鎌田町△十八日夜、久保町、立町△十九日、胡麻澤、堤の内△二十日、揺槌小路、南白銀町△廿一日、舊城跡、大工町△廿二日、八幡小路、月見町△廿三日午後一時、上中下平窪、大町十五丁目管區△廿五日夜、北目鐵△廿九日午後一時、中塩、四ッ波、幕の内、鯨岡、大室

おちの良い
マルミ粉石鹸

## 商人の道に示唆
### 商報隊・文協側座談會の收獲

平商業報國隊の招きに依る磐城文化協會側との『商人對消費者座談會』は昨五日午後七時半から商報隊事務所に開かれた

出席者

△商報隊、齋藤久基山崎忠兵衛、中野勇雄、馬目精一、内藏武雄、伊關克己、森川泰一郎、鈴木新右衛門、小川昌、土屋正二、酒井温夫、吉田祐三郎、武田金一阿部康一、鈴木義忠鈴木文雄

△文協側、高木稻水高瀬勝男、大嶺庫、諸橋敬一郎、渡邊何鳴、增田之、野澤武藏

定刻内藏氏司會の下に國民儀禮を行ない商報隊の奉答文唱和、次いで内藏氏

最近商人に對する各方面から怨嗟の聲を聞きます、文協側の皆さん方をお招ぎ致しまして消費者側としての不平、不滿御意見など拜聽致しまして商人として是正すべきことと柄は正し翼賛商業道德を守つて行きたいと存じます

と座談會開會に至つた趣旨を述べて挨拶しこれに對し文協側を代表高木常任委員

今晩の催しがどんな形式で行なはれるか内容を知らなかつたので復案も持たないが、今夜の催しが平市の商人に少しでも有益になれば幸ひに存じます

と挨拶を交歡座談會に入つたが、兩者の意見は經濟新体制に處する理論的方面に走り勝ちで消費者側の人に對する希望など商報隊側初期の目的に添はない嫌ひあつたが

戰時下の經濟体制と商人の將來性に對する覺語、過剩商人の整理問題。企業合同問題と商人の立場、商人と文化運動、貯蓄と記帳生活。店員店主の敎養機關設置問題店員店主の健全娯樂提供運動、女店員養成問題

等々盡る處を知らず商人今後の動向に大きい示唆を與へ、次回を約して十時十分頃散會した（座談會記録追つて本紙上發表）

## 水害何のその
## 煙草作良好
### 反當り六十圓增收

平專賣所では過般の水害に依る煙草耕作地の調査を進めてゐたが流失反別並に七割以上の被害個所は全反別百八十七町九反に對し五町歩程度に止まり概して思つたより被害尠なく同所員を安堵させてゐるが本郡は煙草耕作三年目だけに未だ耕作者中には水害の處置を知らずにゐて放つてをく者もありやうやく收穫最盛期に入つた煙草が枯滅する恐れあるので『葉』であればどんなものでも無駄なく收穫する樣同所では注意してる、

一方今年の作柄は發育期に降雨が多かつたため害虫が殆んど死滅し生育が順調だつたので昨年度の反別より二萬三千四百町歩の減に拘らず昨年の百八十キロ收穫に對し二百十キロを目標に進んでをり三日同所に開催した敎師協議會でも昨年の百四十圓に比し反當り二百圓獲得に邁進することを申合せた、右に關し或る耕作者の力强い話『煙草耕作をはじめてから初の水害だつたので手の付けやうがなくただ忙然として仕舞つたが專賣所の指導で整理に手を染めた處意外に被害が尠なくどんな泥葉でも穫つたのが得と云ふことが解つたわけです。水害で減收どころか反當りも昨年に較べると六十圓見當の增收を見込みで張り切つてをります』

## 斷水解消
### 十五日目で全市民安堵

氣づかはれた平市の上水道も今六日午前五時を期し時間給水を撤廢し平常通り通水した爲去る廿三日の風水害以來、洗濯に、或ひは風呂水など十五日間不自由を忍んだ全市民は漸く安堵した、而し『今後も干水及有事に備へ今回の試練を忘れぬやう』市當局は次の如く注意を促してゐる

永い間全市民に不自由をかけ申譯無かつた、警防團、青壯年隊、學生等の勤勞奉仕と全市民の御協力に依つて案外早く復舊を見たことは同慶に堪へない、水道は全通したがこれから水源の渇水時に入り貯水も減じ、又有事に際する心構へからムダな水は努めて使用せぬやう御協力を願ひたいと思ひます

## 隣組の美擧
水害地を勤勞復舊

小名濱町諏訪町内會第四隣組では過般の大風水害に因り組内の通路を始め附近農道に欠壞數箇所相生じ爲に道路及畑地の土砂水田に流出青稻を埋め盡し交通上又は農肥運搬上大支障を來し居るばかりか農作物の被害甚大なるより昨三日十五名の隣組員總出動し和田町内會長西條組長自ら農仕度くに鍬、シャベルを持ち指揮の下に關係地主等の應援を得て終日汗して修理並被害除去に從事し見事立派な道路に直し且つ水田は舊に復し一石五鳥の働きを爲し全町より感謝され關係地主等も隣組全員出動に依り見事完成の跡を見て全く隣組の出來たお陰であると心から喜び深く感激して居る

## 口腔保健
### 第二班映畫決る

石城口腔保健實踐會では既報の如く五日常務委員會を開き協議の結果『咀嚼節米と映畫の夕』第二班の日程を次の如く決定した

△十二日、湯本町△十三日、平△十四日草野村△十五日、四倉町

## 猪瀬市長推薦
### 八日急施市會招集

平市會協議會は今六日午後二時から市公會堂（日本間）に開會交渉委員を代表して野崎議長から金古久次氏辭退並に猪瀨乙彦氏就任受諾に至る經過を報告、二、三質問あり推薦急施市會は滿場一致で八日午後三時招集することに決定した

## 平署巡査異動
發表

平署では四日付けで管内の巡査部長並巡査の異動を次の如く發表、（括弧内は舊任地）

△警防副主任（司法副主任）部長伊藤篤△赤井村駐在（江名町駐在）巡査要田留吉△内鄕御廐駐在（赤井駐在）巡査五十嵐義雄△江名駐在（江名、中の作駐在）猪越芳松△小名濱請負（中の作駐在）巡査遠藤定雄△神谷村駐在（赤井村駐在）巡査鈴木正△本署（神谷村駐在）巡査笠原喜八郎△本署（下好間村駐在）巡査萱野富恒△本署勞政係（川俣署）部長安齊伊雄△經濟係（飯野村駐在）巡査庄司富太郎△飯野村駐在（永戸村駐在）巡査星登田△永戸村駐在（飯坂署）巡査桑名四郎

人情浪曲
## 三門博來る
今晩聚樂館開演

キングレコード專屬で人情浪曲の大家三門博と其の一門は今夜五時から市内聚樂館で開演する

讀物は特意の人情物長講二席で入場料は税共七十錢破額で大した前人氣を呼んでゐる

## 石城郡下
### 收入役總會

石城郡下町村役場收入役總會は九日午後一時より小名濱町役場に開催十日午前九時よりは事務研究會を開催する

## 戰時下の
## 生活錬成
平・四女史參加

九日から十二日まで四日間伊達郡矢吹修練農場で開かれる戰時生活錬成講習會に平愛婦會から次の四女史が出席する

△第三分區長、門傳登美乃△第一分區委員、吉野ハナ△同清水ヨシエ△第二七分區下藤キク子

## 藏書家の書齋拜見
## 足の向くまゝ（六）
### 三猿文庫素描（下）
### 諸橋元三郎氏

三猿文庫は表の二階即ち店の方の西寄りの黑い土藏造りの二階に出店がある。ここは六疊で道路に面した北側が明いてをり、いかめしい鐵の格子がはめてある。ここで三猿文庫主人元三郎氏が釜屋の會計として帳簿をめくつたり、用談したり、圖書や水石等の閑談をしたりする。この室がいはば客間であり事務室であり、乘ねて書齋でもあるわけである。從つて室の東側の棚には商賣用のいろ〳〵の印刷物などゝ雜居して樣々の本も入つてゐる眞中の机の上には雜誌のやうなものを載せてゐることが多い。暇な時はめくつて見るらしい。奥の方の本はしまひこんだまゝであまり取り出して讀む機會はないだらうから平生の手澤本、愛讀書はこの出店の方にあると思へば好い。一寸のぞいて見ると「現代筆禍文獻大年表」これは隨分面白い本だ。新聞雜誌等の發賣禁止の年月日理由等が記載してある。「明治文學書目」これは一種の書目解題だ。不用のやうで本當に利用したら重寶な本だ。傳記物が好きだといふので「西園寺公傳」をはじめ小泉三申老編輯の傳記物なども見える「篆刻指南」「書苑」「支那山水隨緣」等があるのは主人公の趣味の一端を示すものであらう「高島易斷」が積み重ねてあるのに姓名判斷の參考資料といふ所であらう。「カントの日常生活」「道元禪師」等は好きで讀んでゐるといつてゐる。最近讀んだのでは「西藏旅行記」（河田慧海）をあげてゐる

毎月とつてゐる雜誌は何々かと聞いて見ると中央公論、改造、文藝春秋、朝日新聞の縮刷、週刊朝日、サンデー毎日と答へた。表紙と目錄を見ただけでも勉強になる。保存用としても大した量だ。

最後に三猿文庫にはもう一つ紹介すべき所がある。それは表の倉庫の中だ。この中にもいろ〳〵の本があつてなか〳〵貴重な本も入つてゐる。たとへば「廣文庫」「群書索引」「國語辭典」のやうなものはこの暗い棚の上に不遇を喞つてゐるわけだ。序に一言するが大抵の藏書家は辭典を持たぬ。何故かといへば三猿文庫にある「大辭典」や「人名辭典」に假に百圓を投じようかどうかと思案する場合に、すぐこの百圓の金があればあの本が買へると考へることが多いからだ。しかし五六百册以上の藏書が出來たら是非百科辭典なり何なり辭典を求むべきであると思ふ。辭典は書齋の主人公だ。もつとも三猿文庫にはあれだけの玉石混淆に廣く書物を集めてゐながら吉田東伍氏の地名辭典を逸してゐる。「國史大辭典」「佛敎大辭典」はあるかないか聞いて見なかつたが、なければ是非備へつくべきである。一体からいへば是非必要な中心となるべき權威ある各方面の本を集めて然る後雜書に及ぶべきだつたのであるが比點金を費した、割合に聊か統一を缺いてゐる。

さもあらばあれ金持の道樂としては本を集める事は確かに好い事で三猿文庫で蒐集したそれらの本は必ず何等かの意味で磐城の文化運動に貢獻してゐる。なほおせつかいながら出來ればあれらの本は死藏しないで特種の人にだけでも解放する方法を講じたなら好いだらうと思ふ。我々が個人で求めようとしても求められないやうな高價なもの或は大部のものだけでも整頓して日と時間を定めて解放するのである。圖書館がないのだから是非さうしてほしいものだ。

最後に例に依つて主人公の話を承て見よう

動機といへば好きだから何といふ事なしに集め出したやうな次第です。鄕土の出版物は意識的に散逸をふせぐ意味から集めました。御覧の通り玉石混淆、物に依ると同じ物が二册あるのもあります。私はかうしておけば何か世の中に役に立つこともあるだらうと思つて居ります。

## 電氣製作所
今月末營業開始

平電氣製作所は工場建築成り、機械類も整備したので七月末日頃營業開始する豫定の處水害に遭つた爲延期され今月下旬頃から業務を執ることになつた

開業を前に郡山、水戸、平等の電力會社を始めとし各方面の再製申込や照會など相當數に上つてゐる

平市の生んだ
## 海の荒鷲
第二回論功行賞
### 甲高田君に功六勳七

平市七軒町四十番地の二海軍航空一等操縦士一等航空士甲高田與三郎君（三三）はこの程海軍第二回論功行賞に功六勳七の輝かしい叙勳に處せられた

赫々たる武勳の主與三郎君は現在日本航空會社南洋パラオ島駐在操縦員として勤務してゐるが出征前までは霞ヶ浦航空隊の教員をつとめ事變勃發と共に遠く支那に飛び敵機數機を擊墜した人、家庭は妻ふさゑさん（三三）との間に長女妙子さん（七）長男禎之ちやん（五）があり實家には母キクさん（六五）兄榮一さん（三九）がある

## 映畫界

**平館**　◎松竹京都作品坂東好太郎、北見禮子、小林十九大塚君代主演「元祿女」◎日活京都作品阪東妻三郎、花柳小菊、澤村國太郎主演「戀山彥」◎文化映畫「荒海に生きる人々」◎日本・海外ニュース

**世界館**　◎大都映畫岡野彥、橘喜久子、水原洋一、佐久間妙子、クモイ・サブロ、大岡怪童久米城主演「少年野口英世」◎牛島映畫文藝峯、逢寿峯、李金龍、金海主演「志願兵」◎文化映畫ニュース

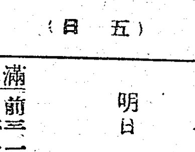
**聚樂館**　◎東寶映畫山田五十鈴、渡邊邦男、岡讓二、高田稔、丸山定夫、岸井明、御舟京子主演「坊つちゃん」◎東和商事提共カローラ・ヘーン、デオトルドロース主演「海洋兒」◎文化映畫◎日本ニュース

興亞のはれ着　國民服
洋服は高島屋
平市二丁目通　電話三八六番

## 平市慶弔錄

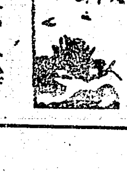
【出生】△平市字紺屋町五十六番地水竹伊助長女泰子さん△平市字七軒町三十九番地田巻源市二男征さん△平市字立町九十一番地橘光二長女敏子さん

【婚姻】△平市字大館三十四番地小林正久（三三）さんと宮城縣杜鹿郡渡波町根岸小木曾直子（二四）さん



（五日）

| 【野菜】 | 小賣値百匁 |
|---|---|
| ナス | 四、錢 |
| キウリ | 四、錢 |
| 南瓜 | 五、錢 |
| 【鮮魚】 | 小賣値 |
| 生マス | 二六、〇 |
| メジ | 五六、〇 |
| ホツキ | 五〇、〇 |
| イワシ | 八、〇 |
| スズキ | 七五、〇 |
| アワビ | 七九、〇 |



今晩　南東の風曇り一時晴れ模樣

明日　南東の風晴れたり曇つたり

（七日）

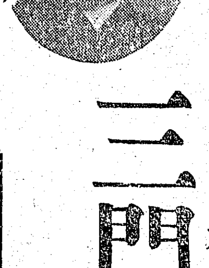
滿潮　前三、一五　後三、一五

干潮　前一〇、三五　後一〇、三五

土木建築
鐵道
船舶仲仕
三崎組
太田勝康
事務所　小名濱町　電話五〇番

警視廳警察官採用

採用人員　二千名
資格　滿二十歳以上四十歳未滿
試驗　作文、國語、算術ノ簡單ナル考査【甲種中等學校以上卒業者、判任文官有資格者陸軍、海軍ノ下士以上、下士適任證書ヲ有スル者ハ筆記試驗ヲ免除ス】
待遇　敎習中四十圓給與卒業後初任月收七十圓以上、被服官給軍隊トノ恩給通算、判任官待遇【採用者ニハ試驗地ヨリ東京マデノ旅費ヲ支給ス】
受驗手續　試驗當日、志願書履歷書ヲ試驗場ニ携帶ノコト
□詳細ハ當練習所、最寄警察署、警察練習所、職業指導所ニ照會ノコト
試驗期日及び場所　八月十八日　福島警察練習所
八月十七日　郡山警察署
八月十六日　平警察署
……何レモ午前九時開始……
東京市芝區田村町六ノ九ノ二
警視廳警察練習所



キングレコード專屬
三門（ミカド）博（ヒロシ）來演
人情浪曲　唄入り觀音經
八月六日夜
於　聚樂館

いよ〳〵佐渡行き迫る
期日　來る十日午前六時平驛發、三泊四日
會費　卅八圓五十錢
【此の際至急御參加御申込み願ひます】
申込所　平市三田小路　電話一六七番　一の井方